

「中丹地域紫ずきん研修会」で研究成果を報告

12月10日に中丹地域特産物育成協議会の主催で「中丹地域紫ずきん研修会」が開催され、農総研から「紫ずきん生産技術のポイント」と題して、今年の栽培期間を振り返りながら、中耕培土・灌水・害虫防除といった基本技術の重要性を強調した技術講演を行いました。

本研修会には、生産者約150名に加えJAグループ・府機関など合計170名の方が出席されました。質疑では、講演では触れていなかった「マルチの効果」や「連作障害の危険性」など、生産者自身が関心のある技術についても質問が出され、生産拡大への意欲を感じる意見交換ができました。



農総研担当職員による技術講演（㈱両丹日日新聞社ホームページより引用）